

関係各位

株式会社あすか製薬メディカル

2023 年 10 月 5 日

エストリオールを含むエストロゲン三分画測定の実施開始のお知らせ

この度、LC-MS/MS による受託測定として、ヒト血清、尿中のエストロゲン三分画 (エストロン、エストラジオール、エストリオール) の測定を開始いたしました。

・必要検体量

血清、尿ともに 0.2 mL 以上

・測定範囲 (検体 0.2 mL 使用時)

項目	検量線範囲 (pg/mL)
エストロン (E1)	5～10000
エストラジオール (E2)	5～10000
エストリオール (E3)	15～20000

E1

E2 に次いで高い生理活性も持つ。他のエストロゲンと同じように生殖機能の発達・維持に関与する。E2 と異なり、閉経後に血中濃度が低下しないのが特徴。

E2

E1～E3 の中で最も高い生理活性を持つ。主に、生殖機能の評価に活用されるほか、骨代謝の評価にも活用される。閉経後は血中濃度が低下する。

E3

妊婦尿中エストロゲンの主成分。E1～E3 の中で最も生理活性が低い。妊婦尿中 E3 の基質は胎児の副腎由来のアンドロゲンによるため、胎盤機能のほか胎児機能の評価にも活用される。

補足

血中のエストロゲン測定は、有機溶媒によるタンパク変性処理を行うため、報告値は遊離型+タンパク質結合型の濃度となります。尿中のエストロゲン測定は、脱抱合化処理を行うため、報告値は遊離型+抱合型の濃度となります。脱抱合化処理なしの測定も可能です。

<お問い合わせ先>

株式会社あすか製薬メディカル 業務管理部

TEL : 0466-77-8336 FAX : 0466-26-5879

E-mail : kensa-med@ap-med.co.jp